

(様式1)

## 平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月11日		記入者		内線	5636
部 名	保健所	課 名	保健予防課		課長名	矢島義明
事務事業名	精神保健集団指導活動事業					
予算上の事務事業名	精神保健集団指導活動事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	11410		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政 策 名	第1章 安心して生活できる福祉社会をつくります					
基本施策名	第4節 援護を要する人の自立援助				事業開始年度	
施 策 名	第1施策 生活の安定				平成12年度	▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	精神保健及び精神障害者福祉に関する法律					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	研修・講座 ▼					
5 事業概要						
(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)						(2) 対象(誰、何)
在宅の精神障害者に対し生活支援活動を通して、自立と社会参加・社会復帰の促進を図る。 また、精神障害者を持つ家族のための教室を行い、病気の知識や関わり方等についての理解を深め、適切な対応ができるよう指導する。					精神障害者及びその家族等	
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。						
集団指導教室						
実施回数	56回					
参加者数計	567人					
家族教室						
実施回数	9回					
参加者数計	207人					
6 関連・類似事業や他市の状況						
7 事業費の推移	[単位：千円]					
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事 業 費	343	343	327	336	336	
一般財源	343	343	327	336	336	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	650	641	666	667	667	
事業コスト合計(a)	993	984	993	1,003	1,003	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)						
主たる事業名	集団指導教室			対象名称 (単位)	延参加者数	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	586	593	590	600	600	
対象数	437	512	567	600	600	
単位あたり経費(円)	1,341	1,158	1,040	1,000	1,000	
前年度比		0.86	0.90	0.96	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化					
指標名 (単位)	参加者数		指標式と指標の説明	年間延べ参加者数	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績	437.0	512.0	567.0		
目標	0.0	0.0	0.0	600.0	600.0
目標達成度					
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標					
指標名 (単位)	参加率		指標式と指標の説明	参加率（年度末現在の登録者のトータル参加回数 / 年度末現在の登録者の参加すべき回数） H15:554/756 H16:506/794	
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)
実績		63.7	73.3		
目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
目標達成度					
11 個別評価					
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】					
A	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。			
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。			
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。			
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】					
B	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。			
	<input type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。			
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】					
A	<input type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。			
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】					
無	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。			
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。			
	<input checked="" type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。			
12 総合評価					
(1) 自動判定結果					
	〔 〕：良好な状態を維持する事業				
	〔 〕：概ね良好な状況である事業				
	〔 〕：見直しを行う必要がある事業				
	〔 〕：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		法令等により実施が義務付けられており、引き続き行政が実施していく必要がある。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策 集団指導のみならず、再発予防および卒業後の進路決定に向けての個別指導の実施。			14 課題として認識されたこと 合併後の開催場所、開催方法の検討。 現行本庁を中心に開催し、月1回南という開催形態であるが、合併後の開催場所および開催方法の検討が課題である。		
15 二次評価					
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント		
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実			
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持			
	<input type="checkbox"/>	見直し			
	<input type="checkbox"/>	廃止			